国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022-2023

Rotary　イマジンロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト http://k-rc.main.jp/

第18回　2022年11月24日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆様、こんにちは。本日はゲストがお見えになっておりますのでご紹介致します。2009-2010年度ロータリー財団国際親善奨学生、富山律子様です。後ほど卓話と素晴らしい演奏をお届けできると思いますので、ご期待下さい。当クラブ会員の宗像剛君の御尊父様がお亡くなりになりまして、11月29日に華の湯で葬儀が行われます。ご冥福をお祈り申し上げます。

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無くすことを通じて世界理解・親善・平和を構築できるよう支援することです。非営利組織であり、自発的な寄付のみにより支えられております。どんなことに役立てられるかと言いますと、1985年にポリオプラスプログラムを開始して以来、20億ドル以上の資金を投入し、30億人の子どもにポリオの予防接種を行って、発症例を99.9%減少させております。これを100%にするのがロータリーの目標でもあります。他にロータリー平和フェローシップというのがあります。世界各地7つのロータリー平和センターで、毎年国際関係・平和研究・紛争解決を修士号でプログラムで学ぶ50名、平和と紛争関係の分野の専門能力開発修了証取得コースで学ぶ80名までのフェローが選ばれ、管理委員会が承認した候補者にはロータリー平和フェローシップ奨学金が提供されています。この他に大規模プログラム補助金があり、他団体・パートナー団体との強い協力の下で、クラブ又は地区が提唱するプログラムに対し、3～5年に渡る事業の拡大を支援し、200万ドルの大規模プログラム補助金を毎年1口授与しています。その他補助金として地区補助金・グローバル補助金・災害救援補助金等を支出しています。また、ロータリーの学友というのがあり、財団は奨学金や職業交換など様々なプログラムを通じ、13万人以上支援して来ました。学友というのはこれらのプログラムに加え、ローターアクト・インターアクト・青少年交換・RYLA（ライラ）の元参加者や奨学金受給者を含み、ロータリーに多大な協力を頂いています。財団では個人認証・クラブ認証がありまして、個人認証は財団の友というのが1つあります。これは年次基金に毎年100ドル以上の寄付をするということで財団の友になります。一度100ドル以上の寄付をしても財団の友になっております。ポール・ハリス・フェローは年次基金・ポリオプラス基金・財団承認のグローバル補助金に累積1,000ドル以上寄付した個人がなります。ですから一番良い方法は、毎年100ドルずつ財団の友という形で寄付をしながら、10年後にポール・ハリス・フェローになる、というのが良いと個人的に考えています。その上にマルチプル・ポール・ハリス・フェローがありまして、1,000ドル毎に授与されます。これは8段階まであります。その上がメジャードナーです。寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫妻で、これも4段階あります。当クラブでは石黒パストガバナーご夫妻がメジャードナーです。この上はアーチ・クラウン・ソサエティで25万ドルの寄付者、その他にも多くの寄付により、様々な名前がついています。ベネファクターというのがありまして、資産計画にロータリー財団を受取人として1,000ドル以上指定したことを書面にて通知する。恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付を行った方ということで、初瀬会員がベネファクターになっています。財団は寄付だけで行っておりますので、是非毎年100ドルずつ寄付をして財団の友、それを10年継続してポール・ハリス・フェローを目指して頂きたいと思っています。本年度の地区ガバナーのロータリー財団に係る地区目標があります。年次基金1人150ドル。ポリオプラス1人30ドル。各クラブに1名のベネファクターを出して頂きたい。寄付0（ゼロ）クラブ0（ゼロ）。寄付はあくまでも自発的で成り立っております。是非財団にご協力を宜しくお願い致します。

幹事報告

橋本　勝 幹事

過日の地区大会の御礼がガバナーから来ております。3年に1回、定款細則の変更がございまして、27日に地区のセミナーがありますので、当クラブからは会長・平松副会長・私の3名で行って来ます。12月18日㈰にロータリーリーダーシップ研究会第5期パート3が開催されます。現次期のクラブ役員・クラブ理事は勿論のこと、多くのクラブ会員の皆様が参加されますようにとのことです。

雑誌委員会報告

佐久間盛徳 委員長

「ロータリーの友」11月号を紹介いたします。

横組　4頁　心を込めてロータリーのストーリーを共有しよう
　　7頁　ロータリー財団月間　大規模プログラム補助金
　　12頁　プログラム紹介
　　14頁　冠名基金ってなに??
　　17頁　第2530地区冠名基金「うつくしまふくしま未来基金」
　　18頁　2023年ロータリー国際大会開催地メルボルン紹介
　　30頁　ロータリーの友創刊70周年特別企画
　　48頁　エバンストンだより
縦組　4頁　人との出会い　人とのつながり
　　13頁　卓話の泉「今どきの探偵業」

ロータリー情報委員会報告

堀川紀房 委員長

11月17日に入会3年未満の会員を対象としましたホームミーティングを開催させて頂きました。10名ほどの参加で、大変和やかな雰囲気の中、楽しくお酒を飲みながらロータリーについて共に学んで参りました。第2回は3月か4月に考えておりますので、対象の会員の皆様、是非次回は参加頂きたいと思います。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。
ゲストの富山律子様の卓話、演奏、楽しみにしています。

佐藤尚宏君

◎本日は第18回例会です。宜しくお願いします。また、ゲスト卓話に富山律子様を歓迎して！　橋本　勝君
◎富山さん、ようこそ!楽しみにしておりました。　関根　信君
◎富山様、本日の演奏&卓話を楽しみにしていました。宜しくお願いします。　山口　仁君
◎富山律子さんを歓迎して。素晴らしい演奏、楽しみです。
石黒秀司君、菅野秀士君、中原喜範君
◎ピアノは猫ふんじゃったしか弾けません。本日は楽しみにしております。
前田泰彦君
◎卓話、ピアノ、楽しみです。息子の大学受験（AO）終わりました。ホッとしました。　佐藤政弘君
◎お昼に素晴らしいピアノを聴けるなんて！ありがとうございます。
佐藤修朗君

プログラム紹介

関根　信 ロータリー財団委員会
委員長

11月はロータリー財団月間になっております。本日はピアノ奏者であられます富山律子さんをお迎え致しました。富山さんは福島市在住、桜の聖母学院高校、桐朋学園大学音楽部ピアノ専攻卒業後、同大学院に進学し、2009-2010年度ロータリー財団国際親善奨学生として、オーストリアのウィーンに留学、第7回日本ピアノコンクール全国大会第1位ほか、多くの大会で数々の賞を受賞されております。どうぞ富山さんのピアノの美しい音色をご堪能下さいませ。

ゲスト卓話

「ウィーンの文化に触れて」

2009-2010年度
ロータリー財団国際親善奨学生
富山律子氏

私は福島東RCからご推薦を頂きまして、2009-2010年度ロータリー財団国際親善奨学生としてオーストリアのウィーンで文化研修を学ばせて頂きました。私は福島市で生まれ育ち、桐朋学園大学・大学院で学びました。研修へは大学院を卒業してから向かい、研修中はホームステイをして毎日語学学校に通いながらピアノのプライベートレッスンを受け、ウィーン国立音楽大学のマスタークラスも受講しました。ウィーンのホテルヒルトンで行われていたロータリーの方々との月に1回の例会にも、毎回出席致しました。例会には各国からの奨学生が参加されていて、交流することができましたし、日本から音楽を専攻する奨学生も2人いらっしゃいました。ロータリーで留学させて頂くことで、出発前は勿論、到着してからもとても安心して過ごすことができました。ロータリーを通じてウィーンに本社があるピアノメーカーのベーゼンドルファーの方をご紹介頂く機会に恵まれて、ベーゼンドルファーのサロンでピアノを弾かせて頂きましたし、ピアノを作る工場も見学することができました。ベーゼンドルファーは、全部手作業で製作されていて、1台のピアノができるまでにこれだけの膨大な時間を使っているということをそこで知りました。スタンウェイと並ぶ素晴らしいピアノを何度も弾かせて頂けたことは、とても嬉しい体験でした。音楽の都と言われるウィーンですから、毎日どこかで音楽会があります。立ち見は300円ほどでコンサートが聞けるので、私も何度も足を運びました。そしてオペラ座の前ではその日の演目がスクリーンで放送されていて、誰でも観ることができたり、オフシーズンになる8月には市庁舎の前の公園に大スクリーンが設置されて、過去の名演奏を放送したりと、生活の中に自然とクラシック音楽があるという羨ましい環境でした。研修が終わりこちらに戻った後には、東日本大震災がありましたし、今コロナ禍を過ごしておりますが、地元でのコンサートやイベントなどにお声をかけて頂き、ソロや伴奏で演奏の機会を頂いております。昨年福島市にできた音楽堂を拠点するオーケストラ、「古関裕而のまち・ふくしまチェンバー・オーケストラ」の創立記念演奏会では、モーツァルトのピアノコンチェルトを共演させて頂きましたし、今年9月の公園ではサン・サーンスの動物の謝肉祭に2台ピアノで参加させて頂きました。そして今年は3年ぶりに自主公演で続けている「音のまなざしコンサート」の第14回目を開催することができました。今月6日にNHK交響楽団のバイオリン奏者と同じ楽団のチェロ奏者の方をお招きして、ピアノ三重奏のコンサートを行いました。今こうして演奏の場を多く頂けてピアノを弾き続けることができていることを、とてもありがたく思います。そして私のような小さな学友の為にも、ロータリーの方々は大きな支えになって下さいます。そのありがたいパワーを感じると私だけの小さな活動ではなく、ロータリーの精神が生かされた活動として恥ずかしくないように、更に努力したいと思います。音楽を通して学ばせて頂いたことを十分に生かせるように、これからも一歩ずつ歩んで行きたいと思います。

ドビュッシー
「喜びの島」

リスト
「ラ・カンパネラ」

出席報告

橋本　勝 幹事

総員／103名　出席／47名　欠席／56名
出席率／45.63%　前回修正率／70.65%
他クラブ出席／8名

次回 第20回例会
令和4年12月8日㈭
会員卓話

「歯周病と各種疾患について」
(医)佐久間歯科医院
理事長　佐久間盛徳君

有限会社 銀座美容室
代表取締役　池　田　達　哉
〒963-8005　郡山市清水台 2-5-3
☎ 932-1171　FAX 932-1194

生コンクリート製造販売
郡山生コン須賀川㈱
代表取締役　綾　　哲　志
〒962-0001　須賀川市森宿字安積田194
☎ 0248-75-4111　FAX 0248-75-4110